

# 正岡子規

芥川龍之介

青空文庫



×

きたはら  
北原さん。

「アルス新聞」に子規しきのことを書けと云ふ仰せあふは確たしかに拝誦たいじゆしました。子規のことは仰せを受けずとも書きたいと思つてゐるのです。が、今は用の多い為なに到たうてい底書ていいてゐる暇ひまはありません。が、何でも書けと云はれるなら、子規に関する夏目なつめ先生や大塚おほつか先生の談片を紹介しませう。これは子規を愛する人人には間まに合せの子規論を聞かせられるよりも興味のあることと思ひますから。

×

「墨汁一滴」だか「病牀六尺」だかどちらだかはつきり  
覚えてゐません。しかし子規はどちらかの中に夏目先生と散歩に  
出たら、先生の稲を知らないのに驚いたと云ふことを書いてゐま  
す。或時この稲の話を夏目先生の前へ持ち出すと、先生は「なに、  
稲は知つてゐた」と云ふのです。では子規の書いたことは嘘だつ  
たのですかと反問すると「あれも嘘ぢやないがね」と云ふのです。  
知らなかつたと云ふのもほんたうなら、知つてゐたと云ふのもほ  
んたうと云ふのはどうも少し可笑しいでせう。が、先生自身の説  
明によると、「僕も稲から米のとれる位のことはどうの昔に知つ

てゐたさ。それから田圃たんぼに生える稲も度たびたび見たことはあるのだがね。唯その田圃たんぼに生えてゐる稲は米のとれる稲だと云ふことを発見することが出来なかつたのだ。つまり頭の中にある稲と眼の前にある稲との二つをアイデンティファイすることが出来なかつたのだがね。だから正岡まさをかの書いたことは一概いちがいに嘘とも云はなければ、一概にほんたうとも云はれないさ！」

×

それから又夏目先生の話に子規しきは先生の俳句や漢詩にいつも批評を加へたさうです。先生は勿論もちろん子規しきの自負心じふしんを多少業腹ごふはらに

思つたのでせう。或時英文を作つて見せると——子規はどうしたと思ひますか？ 恬てんぜん然とその上にかう書いたさうです。——ヴ  
エリイ・グツド！

×

これは大塚先生の話です。先生は帰朝後西洋服と日本服との美醜を比較した講演か何かしたさうです。すると直接先生から聞いたかそれとも講演の筆記を読んだか、兎とに角かくその説を知つた子規は大塚先生にかう云つたさうです。——

「君は人間の立つてゐる時の服装の美醜ばかり論じてゐる。坐つ

てゐる時の服装の美醜も并せて考へて見なければいかん。「わたしのこの話を聞いたのは大塚先生の美学の講義に出席してゐた時のことですが、先生はにやにや笑ひながら「それも後のちに考へて見ると、子規はあの通り寝てゐたですから、坐つた人間ばかり見てゐたのでせうし、わたしは又外国にゐたのですから、坐らない人間ばかり見てゐましたし」と御ごもつと尤もな註釈をもつけ加へたものです。

ではこれで御免蒙ります。それからこの間あひだお出になつた方にもちよつと申し上げて置いたのですが、どうか「子規全集」の予約者の中にわたしの名前を加へて置いて下さい。以上。

(大正十三年四月)





# 青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚 芥川龍之介全集第四卷」筑摩書房

1971（昭和46）年6月5日初版第1刷発行

1979（昭和54）年4月10日初版第11刷発行

入力：土屋隆

校正：松永正敏

2007年6月26日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.waozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたった

のは、ボランティアの皆さんです。

# 正岡子規

芥川龍之介

2020年 7月13日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>